

福祉の現場ルポ

外出する楽しみと仲間づくりに！ 「一人暮らし老人の慰安旅行」

阿東町社会福祉協議会

阿東町は現在、人口約7800人のうち65歳以上の高齢者数が約3300人と、高齢化率が高く、年々高齢化が進んでいます。阿東町社会福祉協議会では、高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを目指し、様々な事業を進めています。その中でも珍しい「一人暮らし老人の慰安旅行」事業を中心に、阿東社会福祉協議会の取り組みをご紹介します。



取材にご協力いただいた阿東町社会福祉協議会、地域福祉課長の松村さん。

日帰りの小旅行で
日頃の疲れを
リフレッシュ！！

一人暮らしの方を気軽に
外へお誘いしたい！とい
う思いから。

高齢者の一人暮らし世帯が増える中、コミュニケーションの場を作り、皆さんに少しでも楽しく元気に過ごしてもらおうと始めたのが「一人暮らし老人の慰安旅行」です。阿東町社会福祉協議会の松村さんに、阿東町社協独自のこの取り組みについてお聞きしました。

「阿東町社協でこの事業が始

まったのは昭和58年から。毎年1回10月上旬に、日帰りの小旅行を行っています。高齢者の人口が全体の4割を占めるといふ阿東町内には、現在約4300人の一人暮らし高齢者がおられるそうです。その中には普段外出することがなかなか難しい方も多くいらっしゃるそうで、遠出をすることの出来ない方や、家にこもりがちの方々に気軽に外へ出て楽しんでもらいたいという思いから、この「一人暮らし老人慰安旅行」はスタートしました。





食事をしながら、お芝居を鑑賞。



事前に配布される募集要項

参加者限定、 旅行の内容とは…

旅行に参加できるのは、阿東町内の65歳以上の一人暮らしの方。一人暮らしの参加者のみでの慰安旅行は、県下でも、阿東町社協独自の取り組みです。旅費は社協の共同募金と参加者の負担金でまかなわれます。旅行の行き先は、年2回行われる福祉員の集会で参加希望者から出た意見を聞いたり、ふれあい・いきいきサロンに集まった方々のお話を聞いたりして決め、時にはみかん狩りや水族館へ行つたこともあります。バスで1〜2時間程度の距離を目安に、参加者のリクエストに応じた予定を組んでいます。

旅行に参加できるのは、阿東町内の65歳以上の一人暮らしの方。一人暮らしの参加者のみでの慰安旅行は、県下でも、阿東町社協独自の取り組みです。旅費は社協の共同募金と参加者の負担金でまかなわれます。旅行の行き先は、年2回行われる福祉員の集会で参加希望者から出た意見を聞いたり、ふれあい・いきいきサロンに集まった方々のお話を聞いたりして決め、時にはみかん狩りや水族館へ行つたこともあります。バスで1〜2時間程度の距離を目安に、参加者のリクエストに応じた予定を組んでいます。

旅は道づれ、 ワイワイ楽しく!!

参加者の年齢は65歳以上〜90歳までと、とても幅広いそうですね。新規参加の方も不思議とすぐにうち解けあえるそうです。中には旅行を通じてお友達になる方も。年の幅関係なく一人暮らしの方同士の交

毎月あってもいいくらい! とっても楽しみにしています。

取材の中で、毎年この旅行に参加されている、皆川さんにお話を聞くことができました。阿東町内に住む皆川さんは80歳の男性の方。「誘いがあつたら外へ出たいと思っていました。また旅行に参加を

すること、何か自分でもボランティアができればと思つて。」と、参加のきっかけを語ってくださいました。ちよつと皆と行動するのが不安だなと思つている方には、付き添つて一緒に楽しめるようにしてあげたりするそうです。また自分が参加することで、周りも巻き込んでどんどん参加者を増やしていきたいそう。男性の参加者がまだ少ないようでも「どうにか増やしたいですね。一度旅行に出てもらえたら、きつと続けて行きたくなるはず！」と皆川さん。そんな仲間うちでのサポートやお誘いがあれば、参加してみよう！と思う人も増えそうですね。

来事も耳に入らないことが多いから。」旅行の場は、身近な地域の情報を交換・共有することが出来る貴重な機会にもなつていくようです。「一人暮らし高齢者が、外に出られるきっかけづくりとしてはとても良いもの。年に1回といわず毎月あつてもいいくらい。とてもありがたい企画なので、これからもどんどん一人暮らしの人が外へ出て行きやすくなるような行事を企画して欲しいですね。」

「いかに安心して、楽しんでもらうか。」を大切にしています。

「やはり皆さんご高齢の方々ですので、旅行中の体調管理には常に気を配るようになっています。」と松村さん。旅行には阿東町社協の訪問看護ステーションの看護職員が毎回必ず同行しています。ケガや事故のないように常に目配り・気配りをしていくそうです。「楽しんで頂けるよう、黒子になつてお世話をしています！」とのこと。旅行のとても頼もしいサポーターです。旅先で気分が悪くなった時に、迅速に対応してもらえらる専門のスタッフさんが常に付き添つてくれていれば、安心して旅行を楽しめます。

また、観光バスの乗り降りに関しても、事前に希望を聞いておき、なるべく参加者の自宅の近くに停留所を配置するなど、移動の負担を少なくする工夫を実践しています。こうしたさりげないサービスが、旅行を楽しく思い出深いものにしていくお手伝いに繋がります。

だれでも気軽に参加のできる旅行に。

参加者には大好評の「一人暮らし老人の慰安旅行」ですが、実はまだ参加者は一人暮らし

高齢者全体の4分の1程度。「毎年チラシを配布したり、口コミで宣伝してもらつたりしています。今後は参加者をもう少し増やしていけたらと考えています。既に参加していただいている方はもちろんですが、まだ参加をしたことがない方も、気軽に外に出て楽しんでもらえるような慰安旅行を今後も企画なので、積極的に参加して頂きたいですね。」と松村さんは語ります。高齢者の方とお話をする機会に、旅行企画のヒントを得ることも。次回は萩への小旅行を企画中だとか。またまた楽しい旅行になりそうです。





栄養バランスの取れた給食をお届けしています。(老人給食サービス)



色紙をつかったレクリエーション。(ふれあい・いきいきサロン)

高齢者が多いからこそ、 もっと充実したサービスを！

阿東町社会福祉協議会では現在、「一人暮らし老人の慰安旅行」の他にも高齢者の方々に、はつらつとした人生を送っていただくための様々な取り組みを行っています。

●地区を見守る、 福祉員ボランティア

阿東町内には現在、福祉員という役割の自治会内ボランティアが121集落の中に123人います。福祉員は、社協が隔月で発行している「社協だより」を各家庭に配布していく中で、一人暮らしの方に声かけや慰安旅行の案内などの活動を行っています。また、社協と連携を密にしながら、集落の中の福祉問題がなにか意見を聞いたり、高齢者の要望などを社協へ直接伝えるなどの活動により、社協によりたぐさんの情報を届ける役割も担っています。

●ふれあい・いきいきサロン

平成10年より、主として高齢者の健康づくり、生きがいづくりを目的に開催しています。現在は町内の38の集落公会堂などの会場でボランティアのお世話により、多いところでは毎月1回開催しています。サロンでは、健康相談や会食、レクリエーションなどの活動を主に行っており、一人暮らし高齢者の仲間づくりや出会いの場として広く利用されています。

●心配ごと相談所

毎月2回、心配ごと相談日を決めており、住民の悩み相談に当たっています。社協相談員、人権相談員、行政相談員等のスタッフが一緒になり、問題解決の糸口となるように対応します。阿東町内各地区での巡回相談所も年間6回開設しています。様々な相談に对应できるように専門の相談員が対応している、地域の心強い相談役です。

●老人給食サービス

阿東町からの委託事業として、70歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に月3回、給食配達のサービスをしています。申込みをすれば、対象者であれば誰でもサービスを受ける事が出来ます。活動は役場と社協の職員、ボランティアからなる「老人給食サービス委員会」で運営されており、食事の訪問配達もボランティアが行います。一人暮らしの方々には大変好評なサービスの一つです。配達の際には一人暮らし高

阿東町社会福祉協議会では高齢化が進む中、先を見越した福祉活動の展開と、皆で助け合い安心して暮らすことのできる地域社会を目指しています。

高齢者にやさしい社会は、皆にやさしい社会。ひとり一人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民の声をしっかりと聞き、ニーズに応えた地域福祉サービスを進めている阿東町社会福祉協議会にこれからも注目です！